

人生に多くの喜びを!

にし かわ こう へい

西川浩平NEWS

荒川区議会議員 令和5年初当選 現在1期目



ひとことメッセージ

〈裏面のQRコードからHPへ進んでいただくと過去のNEWSをご覧いただけます〉

初夏を迎えるこの季節、区内では各地域でお祭りが行われお神輿を担ぐ威勢のいい掛け声が街のあちらこちらでこだまします。荒川区では5月末に開会会議が開催され令和六年度の区議会がスタートしました。議員としての活動もいよいよ二年目、これからも地域の皆様のお声を区政に届けるべく励んでまいります。

議会報告

◆ 令和六年度の荒川区議会がスタートしました!

5月29～31日を会期として開会会議が開催され、令和六年度の一般会計補正予算に関する審議などが行われたほか今年度の議長を決める選挙や常任・特別各委員会の委員が選任されました。



令和六年度の委員会は、

- ・ 常任委員会が
文教・子育て支援委員会 委員に
- ・ 特別委員会が
観光・文化推進調査特別委員会 副委員長に
それぞれ選任されました!



委員会報告

文教・子育て支援委員会

◆ 6月10日今年度初めての委員会を開催

今般、委員に選任された文教・子育て支援委員会は、区の教育委員会事務局・地域文化スポーツ部・子ども家庭部に関する事項を所管する委員会で、10日に今年度初となる委員会が開催されました。委員会では、区の保育の状況や放課後児童事業(学童クラブなど)の実施状況について説明を受けたほか、昨年度包括外部監査が実施されたゆいの森あらかわの管理運営に関する監査意見やその改善策について説明があり、その後各委員から質問が行われ私も委員の一人として質問を行いました。(質問の内容は裏面をご参照ください)

観光・文化推進調査特別委員会

◆ 今年度は、副委員長を務めることになりました!

昨年度からの続投となった観光・文化推進調査特別委員会では、新たに副委員長職を拝命しました。12日に開かれた今年度最初の委員会では、「荒川区俳句のまち宣言」から間もなく10年(令和7年3月)を迎える区の俳句文化振興事業の推進について、取り組み状況の報告がありました。

観光・文化推進調査特別委員会では、

1. 観光振興に関する事項
2. 文化施策の推進に関する事項
3. 都市間交流に関する事項
4. 観光に係る交通アクセスに関する事項
について調査研究を行います

もうすぐ
10周年

荒川区俳句のまち宣言

荒川区議会ホームページ

検索

- ・ 開会会議の映像がご覧いただけます。トップページから本会議等録画中継へお進み下さい!
- ・ 各委員会の音声をお聴きいただけます。トップページから委員会録音中継へお進み下さい!



質問

認可保育園の入園状況について、令和6年4月1日現在33名の待機児童(すべて1歳児)が発生していることを質問

- ① 昨年、一昨年と0名であったものが今年になって増加した要因は何か。
- ② 33名の待機児童は現在どのような状況にあるのか。
- ③ 待機児童の発生に地域差が生じている要因は何か。(荒川地域が他の地域に比べ多く発生している反面、南千住地域においては発生していない)
- ④ 区は待機児童の解消にどのような取組を行っているのか。

答弁

- ① 待機児童発生要因として、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、入園控えが解消されたことや第2子の保育料無償化により認可保育園への入学希望者が増えたこと、育休を取って1歳児で職場復帰をする保護者が増えたことにより1歳児の入園申込者が増加したと考える。
- ② 5月時点の待機児童は26名(3名が許認可保育園に内定、1名が認証保育所に入園、3名が申込取り下げ)、認可外保育施設やベビーシッター利用支援事業補助金などの制度を案内するなどして対応している。
- ③ 荒川地区において1歳児の入園申込は増加しているが、保育定員数もそれに合わせ増加しているため理由としてははっきり言えるものがない、一方、南千住地域では、就学前児童の減少幅が他の地域に比べて大きく、今後は南千住地域の実情をふまえ定員の見直しや空きスペースを活用し子育て交流サロンや一時保育などの実施をはかり、多様な保育・子育て支援ニーズに地域全体で答える保育環境の整備を行う。
- ④ 就学前児童の減少は今後も続いていくことが考えられる。今回は1歳児の入園申請が増加したが0歳児については減少傾向にあり、来年度の1歳児は減少する見込みだがマンション建設によるファミリー層の流入も考えられることから地域の保育ニーズの動向を細かく注視し、運営事業者とも個別に協議し施設整備も含め慎重に検討していく。

活動報告

◆ 区主催の行事や地域の活動に参加しました

秩父市を表敬訪問

5月14・15日の二日間、荒川区の交流都市(荒川区では、姉妹都市を交流都市といいます)である秩父市を表敬訪問しました。同市とは、昭和56年に荒川区の区政50周年を記念して旧荒川村(現秩父市荒川地区)との交流がはじまり、以来両区市で定期的な交流事業が行われています。今回の交流事業では、秩父市議会への表敬訪問をはじめ、荒川水系のダムである浦山ダムの見学、秩父市も出資する再生可能エネルギー事業者である秩父新電力(以前、荒川区でも公共施設で利用する電力を秩父新電力から購入していました)の視察等を行いました。

あらかわバラの市の開催に伴う式典に出席

昨年は、あらかわ遊園周辺を会場として実施されたバラの市でしたが、今年は会場を町屋駅周辺に移して5月18日に実施されました。

令和6年度尾久消防団消防操法審査会に出席

5月19日東尾久運動場で実施された尾久消防団の操法審査会に出席しました。審査会では、私も指導者を務める尾久消防少年団の団員による日頃の訓練内容(消火活動・ロープ傑作など)の披露なども行われました。



講師
荒川区俳句のまち宣言
協賛委員会委員長
現代俳句協会副会長
対馬 康子 氏



10周年
荒川区俳句のまち宣言10周年記念

当日スケジュール

10:00 吟行会 @荒川自然公園

11:30 お昼休憩

12:30 句会 @ゆいの森あらかわ



詳細・申込はこちら

参加者募集

一事前申込制

対象：俳句愛好者歓迎(区内外問わず)

申込方法：はがき、FAX、荒川区HPで

住所・氏名・電話番号・年齢・参加人数を
ご記入ください。

※申込多数の場合は抽選となります。

申込先：〒116-8501 (住所不問)
荒川区役所文化交流推進課
「宣言10周年俳句吟行会」担当 宛
FAX 03-3802-4769
主催：荒川区
問合せ先：文化交流推進課 03-3802-3795

2024年7月15日(月・祝)

午前10時～午後2時

お知らせ

◆ 各種行事等のお知らせ

- ・ 荒川区俳句のまち宣言10周年記念俳句吟行会

(開催日:7/15 会場:荒川自然公園 他)

荒川区俳句のまち宣言から10周年を記念して吟行会および句会を行います。

(お問合せ) ☎03-3802-3795 荒川区文化交流推進課まで

区政のご相談はお気軽に当事務所まで！



西川浩平事務所 〒116-0001東京都荒川区町屋6-24-12

☎03-3895-9595 ✉nishikawa@kohei.tokyo.jp 🌐https://www.nishikawakohei.jp/

【所属委員会】文教・子育て支援委員会委員/観光・文化推進調査特別委員会副委員長/土地開発公社評議員会副委員長/清掃審議会委員

【地域活動】尾久消防少年団指導者/荒川区ホテルを育てる会会員/荒川区バレーボール協会顧問